

【地域活性化総合特区】ふじのくに先端医療総合特区

[静岡県・山梨県]

【目標】

・がん医療の飛躍的發展

革新的ながん診断装置・診断薬の研究開発の拠点化を進め、国際競争力を有する製品を迅速に世界へ提供

・地域企業の活性化と雇用創出

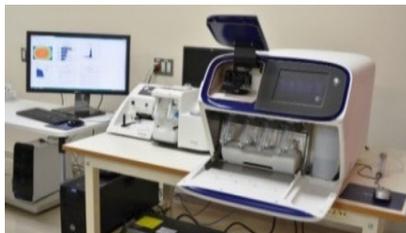
医療機器や部品・部材を提供する地域企業による産業クラスターの形成

- ＜目標値＞
1. がん診断装置・診断薬の開発：令和3年度から令和7年度までの累計5件（うち両県共同製品開発1件）
 2. その他医療関連製品の開発：令和3年度から令和7年度までの累計65件（うち両県共同製品開発5件）
 3. 医療分野に活用可能な山梨県企業の高い技術力について、静岡県企業がファルマバレーセンター及びメディカル・デバイス・コリドー推進センターに相談した件数：年100件
 4. 医療機器生産金額（静岡県内）：4,022億円（令和元年）→7,500億円（令和7年）
 5. 製造業等の企業立地件数（静岡県内）：令和3年度から令和7年度までの累計325件

【取組概要】

- ・静岡がんセンターが実施する「マルチオミクス解析を用いたゲノム医療の早期実現と新技術開発に関する臨床研究（プロジェクトHOPE）」により、がんゲノム医療の社会実装のための技術開発を推進
- ・（公財）ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター（静岡県）及び（公財）やまなし産業支援機構メディカル・デバイス・コリドー推進センター（山梨県）が地域企業の医療機器産業への新規参入、研究開発および製品化・事業化を推進
- ・両県企業の技術やネットワークを活用した競争力のある製品開発や海外を含めた販路開拓の推進

ゲノム医療の技術開発



次世代シーケンサー(プロジェクトHOPE)

地域企業の医療機器開発のための支援拠点



ファルマバレーセンター
(静岡県医療健康産業研究開発センター)



メディカル・デバイス・コリドー推進センター

両県の連携推進



連携協定締結式(R元.12月)